

平成29年11月16日定例教授会議事抄録

出席者

梶屋所長

板倉、黒田、佐藤、菅、園田、高見澤、長澤、中島、名和、平勢、松田、真鍋の各教授
額定其勞、藏本、小寺、塚本、馬場、古井、森本、米野の各准教授

海外渡航者

大木、高橋の各教授、池亀、鍾の各准教授

議事

11月2日開催の定例教授会の議事抄録を承認した。

通知事項

1. 教員等の公募 資料P5のとおり1件
2. 各種研究助成等の募集について 資料P6のとおり4件

報告事項

3. 所長報告

梶屋所長より、以下の会議等について報告があった。

1) 科所長会議(11月7日)

① 平成29年度理事等の分担

資料P9～11に基づき、平成29年11月1日付けで変更のあった理事等の分担について、説明があった。

② 東京大学の保有個人情報等の適切な管理のための措置に関する規則の一部改正等

資料P12～20に基づき、独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律(平成15年法律第59号)の改正に伴い、所要の整備を行うため、東京大学の保有個人情報等の適切な管理のための措置に関する規則の一部改正他、関連規則の改正および制定を行うとの説明があった。

③ 東京大学と清華大学との戦略的パートナーシップ覚書締結

資料P21～25に基づき、東京大学と清華大学との戦略的パートナーシップ覚書締結について報告があった。

④ 学務システム導入プロジェクトの総括

資料P26に基づき、学務システム導入プロジェクトの総括について報告があった。

⑤ 第6回東京大学伊藤国際学術研究センター(IIRC)会議企画選定結果報告

資料P27～29に基づき、第6回東京大学伊藤国際学術研究センター(IIRC)会

議企画選定結果について、池亀准教授の申請が採択されたとの報告があった。

⑥ 渉外本部主催シンポジウム「大学への寄附」

資料P30に基づき、渉外本部主催シンポジウム「大学への寄附」の開催予定について案内があった。

2) 教育研究評議会（11月14日）

資料P31に基づき、同会議での議事概要について報告があった。

3) 教員の海外渡航について（報告）

資料P32のとおり3件を承認した旨報告があった。

4) 委員等・非常勤講師の応嘱について

なし

5) その他

① 資料P33に基づき、准教授をクロス・アポイントメントで採用することを平成29年9月14日の教授会において承認し、その後、役員会においても承認されたとの報告があった。

② 今年1月に実施したハーバード・東大のシンポジウムについて、Academy of Korean Studies から大変高い評価を得たとの報告があった。中島副所長より、資料P34に基づき、11月13日付けで評価結果を文書でいただいたこと等補足説明があった。

③ 資料P35に基づき、現在実施されている、学部教育の総合的改革に関するアンケートに協力いただきたいとの依頼があった。

④ 11月2日の教授会で開講希望者を募った平成30年度初年次ゼミナールについては、最終的に蔵本准教授に引き受けていただくことになったとの報告があった。

⑤ 10月12日の教授会において案内を行った平成30年度復旦大学、フランス社会科学高等研究院への教員派遣公募について、まだ枠が残っているので希望者は11月末までに所長宛に申し出るよう再度案内があった。

4. 各委員会報告

1) 財務委員会

松田委員長より、

① 資料P36～37に基づき平成29年度予算執行状況の報告があり、個人、委員会とも適切な執行へ協力いただきたいと要請があった。

② 平成30年度所内予算案スケジュールについて、本年度の所内ヒアリングは11月23日（火）を予定しているとの説明があり、各委員会委員長へ協力要請があった。

③ 業務達成基準申請書について、本部へ提出するまでの予定について説明があった。

2) インフラ委員会

松田委員より、

豪雨により浸水の恐れがある西側地下扉の改修について、検討の経過について説明

があり、委員会として防水扉を取り付けることとしたとの報告があった。

3) 情報・広報委員会

特になし

4) 研究企画委員会

特になし

5) 図書委員会

森本委員長代理より、

① 資料P38に基づき、平成29年度図書資産実査の結果、所在を確認できない図書があったと報告があった。

② 図書館活動等に対する研究助成の応募を検討していることを10月の教授会で報告した件について、資料の長期保存対策にかかるものへの提案があり、応募したとの報告があった。

③ 参考図書・基本図書の選定結果について報告があった。

④ 書庫の防虫対策について報告があった。

6) 東洋学研究情報センター委員会

「平成30年度東京大学デジタルアーカイブズ構築事業」への申請について検討しており、後程審議願いたいとの説明があった。

7) GJS委員会

園田委員長より、

① 来年度のサマープログラムの実施にあたり、定員の一部をアジア大学連盟(AUA: Asian Universities Alliance)からの補助により受け入れることを検討しているとの報告があった。

② 特任研究員(特定短時間勤務有期雇用)の雇用を検討しているとの報告があった。

8) その他

塚本レクレーション委員長より、本日の夕刻に開かれる創立記念パーティーについて、忘年会を兼ねて開催する旨案内があった。

5. その他

① 高見沢教授より、11月10日(金)に茨城県立水戸第一高等学校から15名の訪問があり、模擬授業、図書室書庫の見学および資料整理実習を行ったとの報告があった。同高は数年続けて来所しており来年度も訪問を希望していること、毎年先方より希望教員の指名があることについて説明があり、相談があった場合は協力願いたいとの要請があった。

また柵屋所長から、当研究所では従来から訪問希望のある高校生の受入れを随時行っているが、高大接続は重要な課題であることから、今後は所として受入れ、来所した高校生へアンケートを実施するなどし、所の実績として情報を蓄積していきたいので、個人的なつながりで相談を受けた場合も研究支援担当へ一報いただきたいとの要請があっ

た。

② 榊屋所長から、年末年始の予定について、12月28日(木)(年内最後の業務日)には年末挨拶を含め行事を予定していないこと、1月4日(木)(年始最初の業務日)は、11時45分から大会議室にて仕事始めの年頭挨拶を行うが、その他の行事は予定していないことの案内があった。

審議事項

6. 訪問研究員の受け入れについて

該当教員より説明があり、資料P39のとおり1件の受け入れが承認された。

7. 寄附金の受け入れについて

該当教員が不在のため榊屋所長より説明があり、資料P40のとおり1件の受け入れが承認された。

8. 新規班研究について

該当教員より資料P41～42および回覧資料に基づき、新たな班研究の設置について説明があり、承認された。

9. 共同利用・共同研究拠点認定に関連する規則の改正等について

榊屋所長より、平成31年度からの共同利用・共同研究拠点認定に申請するにあたり、規則改正等を行う必要があるとの説明があり、資料P43～46に基づき、東洋文化研究所規則の改正および東洋文化研究所共同利用・共同研究拠点運営委員会規則の制定について提案があり、原案を一部訂正の上、承認された。

10. 教員人事について

榊屋所長から、板倉教授の情報学環流動教員としての任期が今年度末で満了となるため後任として平成30年4月1日～平成33年3月31日の3年任期にて菅教授に依頼したい旨提案があり、承認された。

11. 教員の兼務について

① 榊屋所長から、資料P47に基づき、来年度の情報学環流動教員3名について、本研究所教員として兼任いただきたい旨の提案があり、承認された。

② 榊屋所長から、特任教員の選考について、研究所内規第31条第2項に基づき、本日審議を行い、同日に投票を行うとの発議があった。また、候補者の決定にあたり、出席者が定足数となる教授会構成員総数の3分の2以上に達しているため、本教授会で選考が成立する旨宣言があり、続けて、園田特任教員選考委員会委員長から、回収資料に基づき、国際学術交流室(GJS)で雇用する特定有期雇用教職員(特任助教)候補者について、候補者の経歴、選考過程、選考理由等の説明があり、その後、投票を行った結果、可決された。

12. 次年度の学術フロンティア講義担当教員の選出について

担当教員の榊屋教授から、平成30年度の学術フロンティア講義について、幹事部局が本研究所になること、本研究所は4月に3回の講義を担当するため3名の教員を選出する必要があることの説明があり、講義担当教員をこの場で審議・ご承認いただきたい

との提案があった。

これを受け、その場で候補者を募り、以下の教員が次年度の担当者として承認された。

13日（金）園田教授、20日（金）馬場准教授、27日（金）米野准教授

13. その他

平勢副センター長より、別紙資料に基づき、「平成30年度東京大学デジタルアーカイブズ構築事業」への申請について提案があり、その後同部門の榎屋教授より、申請理由等の補足説明が行われ、本件は承認された。

以上